

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330421109	家庭科研究 Research of Home Economics	長拓実			2	必修	2前期
<b>科目の概要</b>							
小学校家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指している。本科目では、小学校家庭科の目標を達成するための教材作りについて考えるために、将来小学校教員を目指す学生自身が実践的・体験的な活動を通して、小学校家庭科に関する確かな知識および技能を身につけることを目標とする(DP3)。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 小学校の調理実習における基本的な調理技能を身につける。 ② 卵や青菜、じゃがいも、米、だしの調理性および材料に適したゆで方やいため方を理解する。 ③ 目的に応じた縫い方をするために、手縫いやミシン縫いの技能・技術を身につける。 ④ 掃除が必要なよごれや衣服のよごれを落とす方法を理解する。				① 小学校の調理実習における基本的な調理技能を説明できる。 ② 卵や青菜、じゃがいも、米、だしの調理性および材料に適したゆで方やいため方を説明できる。 ③ 修得とした手縫いやミシン縫いの技能・技術で布を用いた作品を製作することができる。 ④ 掃除が必要なよごれや衣服のよごれを落とす方法を説明できる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。					
	傾聴力	グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
「高等学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省 「わたしたちの家庭科5・6」開隆堂							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「家庭科研究」は専門科目の小学校領域に配置されており、その後に履修する「小学家庭」の基盤となる科目である。 資格との関連：小学校教諭一種							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
・配布プリントや資料はレポート作成に役立ててください。 ・食物アレルギーなどがある場合は、必ず申告してください。				・遅刻は授業開始後20分以内とし、かつ、その授業後直ちに自己申告があったもののみとします。 ・実習に必要な費用を別途徴収いたします。 ・実習に必要な道具（エプロン等）を用意してください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	・小学校家庭科の学習内容のうち、体験的な学習に関する指導に必要な知識を正しく理解しているか評価する。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
		レポート		30	①	✓		・調理実習に関しては、小学校で家庭科を指導する上で必要な調理技能や調理特性におけるレポートを評価する。
					②	✓		
					③			
					④			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①		・掃除が必要なよごれや衣服のよごれについて、どのような工夫をすれば良いか説明することができることを評価する。 ・被服実習で作品を作り上げる過程を記した記録用紙、および完成した製作部を評価する。			
			②					
			③	✓				
			④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力）課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力）事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 （発信力）整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 （傾聴力）グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性）遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術を論理的に説明することができる。調理実習・実験のレポートにおける結果を具体的に書き、関連した内容について十分調べ学習して自身の言葉で考察を加えることができる。被服実習において、正しい技術を用いて作品を正確に作れるだけでなく、作品を製作する過程を具体的に記録することができる。掃除や洗濯の実習に積極的に参加し、よごれを落とすための工夫を科学的知見を踏まえ具体的に説明することができる。</p> <p>A：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術を具体的に説明することができる。調理実習・実験のレポートにおける結果を具体的に書き、関連した内容について調べ学習して自身の言葉で考察を加えることができる。被服実習において、正しい技術を用いて作品を作れるだけでなく、作品を製作する過程を具体的に記録することができる。掃除や洗濯の実習参加し、よごれを落とすための工夫を具体的に説明することができる。</p>	<p>B：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術をある程度説明することができる。調理実習・実験のレポートにおける結果を書き、関連した内容について調べ学習して自身の言葉で考察を加えることができる。被服実習において、適当な技術を用いて作品を作れるだけでなく、作品を製作する過程を記録することができる。掃除や洗濯の実習参加し、よごれを落とすための工夫をある程度説明することができる。</p> <p>C：筆記試験において、小学校家庭科を指導する上で必要な衣食住に関する技能・技術を説明することができる。調理実習・実験のレポートにおける結果を書き、関連した内容について調べ学習して自身の言葉で考察を加えることができる。被服実習において、適当な技術を用いて作品を作れるだけでなく、作品を製作する過程を記録することができる。掃除や洗濯の実習参加し、よごれを落とすための工夫を説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 小学校家庭科の学習内容について	講義 グループワーク	小学校家庭科の学習内容を把握することができる	(予習) 小学校における家庭科の学習内容(教科書の目次など)について調べる。  (復習) 小学校における家庭科の学習内容についてまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
2	調理の基本 ・身だしなみ ・調理実習室の使い方 ・お湯を沸かしてお茶を飲む	講義 実習	調理の基本を理解することができる レポートにまとめることができる	(予習) 教科書(p.10-17)及び学習指導要領(p.32-48)を読んで理解する。  (復習) 調理の基本に関するレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	ゆでる ・卵と青菜、じゃがいもを調理する	講義 実習	卵と青菜、じゃがいもをゆで、その様子を観察・記録することができる。	(予習) 教科書(p.10-17)及び学習指導要領(p.32-48)を読んで理解する。  (復習) ゆでるという調理技能に関するレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	いためる ・卵と青菜、じゃがいもを調理する	講義 実習	卵と青菜、じゃがいもをいためて、その様子を観察・記録することができる。	(予習) 教科書(p.10-17)及び学習指導要領(p.32-48)を読んで理解する。  (復習) いためるという調理技能に関するレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	米を炊く ・炊く前と浸漬させた米の比較 ・米が炊き上がる変化を観察	講義 実習	米の調理性を理解し、実験の様子を観察・記録することができる。	(予習) 米について調べる。  (復習) 米に関するレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	だし ・天然のものと化学調味料を比較する ・だしをとる	講義 実習	だしの特性とだしのとり方を理解する。	(予習) だしについて調べる。  (復習) だしに関するレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	みそ ・様々なみそを比較する ・みそ汁を作る	講義 実習	みその違いを自分の言葉で表現することができる。 みそ汁を作ることができる。	(予習) みそについて調べる。  (復習) みそに関するレポートを作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	よごれを落とす工夫について① ・衣服のよごれについて科学的に学ぶ ・衣服のよごれを手洗いで落とす	講義 実習	衣服のよごれについて科学的に理解する。 よごれに応じて洗い方を工夫することができる。	(予習) 衣服のよごれについて調べる。  (復習) 衣服のよごれを落とす工夫についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	よごれを落とす工夫について② ・住居のよごれについて科学的に学ぶ ・工夫した道具を用いて掃除をする	講義 実習	住居のよごれについて科学的に理解する 工夫した道具を用いて掃除をすることができる	(予習) 掃除について調べる。  (復習) 掃除をする際によごれを落とす工夫についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	裁縫の基本 ・道具の名称及び使い方 ・手縫い ・ボタン付け	講義 実習	裁縫の基本について理解する	(予習) 教科書を読む。 (復習) 裁縫の基本的な事柄をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ミシン ・ミシンの仕組み ・ミシンの基本的な使い方	講義 実習	作品を作るための計画を立てることができる 手縫いにおける適切な技能・技術を用いて作品作りに取り組める	(予習) 教科書(p.20-27)を読む。 (復習) 記録用紙を記入し、作品の完成に向けて必要なことを調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	袋作り① ・計画を立てる ・ミシンで作品を作る	講義 実習	手縫いにおける適切な技能・技術を用いて作品を作りあげる 作品を作る過程を記録しまとめることができる	(予習) 手縫いについて調べる。 (復習) ミシンの使い方について調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	袋作り② ・計画を立てる ・ミシンで作品を作る	講義 実習	ミシンを正しく使うことができる	(予習) ミシンの使い方について調べる。 (復習) ミシンの使い方についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	小物作り① ・計画を立てる ・手縫いで作品を作る	講義 実習	作品を作るための計画を立てることができる ミシンにおける適切な技能・技術を用いて作品作りに取り組める	(予習) ミシンの使い方を調べる。 (復習) 記録用紙を記入し、作品の完成に向けて必要なことを調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド：小物作り② ・ICT教材を視聴しながら、作品を作る	動画視聴 個別学修	手縫いにおける適切な技能・技術を用いて作品を作りあげる 作品を作る過程を記録しまとめることができる	(予習) ミシンの使い方を調べる。 (復習) ミシンを使って他にどのような作品を作ることができるか調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力